

筑波大学新聞

第301号

編集責任 筑波大学新聞
編集代表 福原直樹
TEL: 029(853)2040-6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

ロンドン五輪

本学関係者ら5人が出場決定

代表候補者の活躍に期待

ロンドンで7月27日から8月12日にかけて開催される第30回オリンピック競技大会の柔道・パドミントン日本代表に本学関係者5人が選出された。出場が決定している選手は以下のとおり。(6月5日現在)

- 【柔道・男子】▽60kg級・平岡拓晃(了徳寺学園・体育2年)
- 【パドミントン】▽混合ダブルス・池田信太郎(日本ユニシス・平成15年度体育専)
- 【柔道・女子】▽78kg級・緒方亜香里(体専4年)▽48kg級・福見友子(了徳寺学園・平成21年度体育修)

体芸図書館が再開

震災から1年ぶり

昨年3月の東日本大震災で被災し、震災復旧工事で休館していた本学附属体芸図書館が5月21日より

絶滅危惧種 捕獲 キューバソレノドン

本学准教授が調査参加

一時は絶滅したと考えられていた「キューバソレノドン」が5月、キューバと本学など日本の合同研究チームにより同国東部で捕獲された。



捕獲されたキューバソレノドン

今年春ごろから約3週間、キューバ東部のアルハン・デ・ウンボルト国立公園で調査を実施。4匹のオスと3匹のメスを捕獲した。また、昆虫だけではなくカエルのトカゲを好んで食べる

様子を観察され、唾液のサンプルも採取した。研究チームの一人である北将樹准教授(動物学)は、現在唾液に含まれる毒成分の分析を行っている。北准教授は、「なぜソレノドン

のよう原始的な、ほ乳類だけが暮らすようになっただけか、ほ乳類の進化に毒がどのように関わってきたのかという謎も解明したい」と話した。

あるなど本学の国際戦略上、中国は重要な国。だが、中国に設置されていた本学の教育研究拠点(北京事務所)のみで、中国全土を網羅することは困難だった。また中国からの留学生数に比べ、本学から中国への留学生数は21人と少ない。そのため同センターが中国における重要な拠点となり、本学からの留学生を増やすなどして中国との交流を強めていくことが期待される。

今後は本学の現地でのインターシップの機会提供や柔道・剣道などの体育指導、日本語教育プログラムの構築支援などの活動が予定されている。



5月31日。栗原小学校の5年生らが、泥だらけになりながら初めての田植えに挑戦した。手に持つ小さな緑は、半年後においしいお米に育つ。実りの秋が、今から待ち遠しい。(写真・二宮健太=社会学類)

つくば 歳時記

外に出ると近所の人が遮光ガラスで空を眺めていた。「見えませんか?」と尋ねると「見えませんが、笑って返される。少しの間立ち話。初対面だったが、今では時折話す仲だ。縁がまた一つ増えた瞬間だった。大学に来て1年。振り返るとたさんの人と出会った。ともに学び、時には夜中まで騒いだ。バイト先の学習塾では受験に臨む生徒と向き合い、何が出来るか考えた。「あなたがいてくれたよかったです」と時に言われる。久しぶりに聞いた言葉だった。思えば私も受験生だった。「センター試験まであと〇日。時間に追われ、日々机に向かって。誰かに頼りたくても頼れない毎日の中、自分だけで生きていくようにすら思えた。いつしか人に頼ることを忘れた。一時には急ぎすぎて見失う事もあるよ。仕方ない。10年前にヒットしたKiroroの「Best Friend」の一節だ。ドラマ「ちゅらさん」のオープニングにもなったこの歌を今になって噛み締める。ドラマでは沖繩の空の下で暮らす温かい住人の姿が描かれる。かたや街を見渡すと、時間に追われ、縁を忘れて日々を生きている人も多い。時には立ち止まって空を見上げてみよう。同じ空の下で「ずっと見守っているから」と微笑む人の事を、きくと思い出せるだろう。あなたの大切な縁は、すくすびにある。

北条地区復興活動 本学生らが壁新聞製作 住民に向け情報発信

5月6日の竜巻で大きな被害を受けた北条地区

で、本学の学生団体「筑波山麓地域づくり研究会(通称チームじゅっぺ)」や「アート&デザインプロデュース(ADP)」のメンバーが、地区の住民とともに「北条街かど新聞」という壁新聞を製作。復興に向け住民の生活に役立つ情報提供のため、広報活動を行っている。

「チームじゅっぺ」は、同地区の特産品「北条米スクリュー」を企画したこと

で知られ、同地区の住民とともに街おこしに携わってきた学生団体。「ADP」は、本学の芸術系の共通科目で、同地区の古民家を改装し、コンサートホールやギャラリーとして一般に開放、芸術を通して同地区の魅力を紹介してきた。

「チームじゅっぺ」の代表で新聞製作に携わった田中咲也子さん(経済前期2年)は「今後も学生独自の立場を生かして、被災者の手となり足となり働いていきたい」と抱負を語った。

館内のカーペットの張り替え作業が開館後の夏季休業期に順延になったり、資料を書架に戻す作業を急いで行ったため書架の図書の順番が完全には整っていない

いなど、また万全の状態とはいえないが、ほぼ休館前と同じサービスを利用出来る。また、鉄骨補強材と柱の設置により、書架の位置が震災前と変わった箇所もあるという。

体芸図書館の阿部高係長は「通常どおり開館してから、利用者は少しずつ戻ってきている。もっと利用してもらえれば」と語った。



完成した新聞記事を掲示するメンバーら

紙面から	25年ぶりに国内で観察
金環日食	5
アーキテクト	5
陸上開業シカレ	8
柔道全日本選抜	9
春季スポーツデー	10
Good Job	11
女子総合で20連覇	8
緒方、平岡が優勝	9
7374人が参加	10
子どもに職業体験	11
ミニ特集	3
第38回宿舍祭	3
「祭色」に染まった2日間	3
特集	6,7
ロンドン五輪	6,7
本学から見た五輪	6,7

金環日食の朝、外に出ると近所の人が遮光ガラスで空を眺めていた。「見えませんか?」と尋ねると「見えませんが、笑って返される。少しの間立ち話。初対面だったが、今では時折話す仲だ。縁がまた一つ増えた瞬間だった。大学に来て1年。振り返るとたさんの人と出会った。ともに学び、時には夜中まで騒いだ。バイト先の学習塾では受験に臨む生徒と向き合い、何が出来るか考えた。「あなたがいてくれたよかったです」と時に言われる。久しぶりに聞いた言葉だった。思えば私も受験生だった。「センター試験まであと〇日。時間に追われ、日々机に向かって。誰かに頼りたくても頼れない毎日の中、自分だけで生きていくようにすら思えた。いつしか人に頼ることを忘れた。一時には急ぎすぎて見失う事もあるよ。仕方ない。10年前にヒットしたKiroroの「Best Friend」の一節だ。ドラマ「ちゅらさん」のオープニングにもなったこの歌を今になって噛み締める。ドラマでは沖繩の空の下で暮らす温かい住人の姿が描かれる。かたや街を見渡すと、時間に追われ、縁を忘れて日々を生きている人も多い。時には立ち止まって空を見上げてみよう。同じ空の下で「ずっと見守っているから」と微笑む人の事を、きくと思い出せるだろう。あなたの大切な縁は、すくすびにある。

TPECに本学が加入へ 人材育成の面で貢献

産業技術総合研究所(つくば市梅園)は4月27日、「パワーエレクトロニクス」に関する人材育成、共同研究を進めるために、研究共同体「つくばパワーエレクトロニクスコンステレーション(TPEC)」を設立した。

TPECには現在、富士電機やトヨタ自動車など16社が参加。企業が研究資金を出し合うことで、開発リ

スクの軽減などを狙う。本学も今年度中に加入し、人材育成などの面で貢献する予定だ。

今後、人材育成の面では、研究チームを大学院生などから募集し、国内の産業界が関心を示すテーマを選定。本学などの研究者が指導する予定だ。サマースクールやインターンシップを行う計画もあるという。

パワーエレクトロニクスの開発を予定しており、会

自動車や家庭用電化製品など、幅広い範囲で用いられている。シリコンを用いた半導体の分野で韓国や台湾に遅れをとる一方で、日本が依然として高い国際競争力を有している分野だ。

これまでも本学と産総研は、ナノテクノロジー研

究の技術開発、人材育成を目的としてつくばイノベーションアリーナナノテクノロジー拠点(TI-Anaノ)を2009年に設立するなど連携が進められてきた。今回のTPEC設立は、このような連携を基盤にしている。

企業だったインテルが大手企業になった事実を語りながら「現在求められるリーダー像は過去のものに変化している」ことを例に、21世紀型リーダーシップとして「スチュワードシップ」を紹介した。スチュワードシップとは、1社ではなく複数の会社が連携することによりよい結果がでるとい

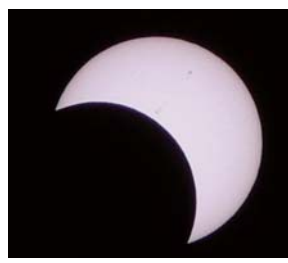
う考え方。安部副社長は、「リーダーシップは作り出すことができる。これからのリーダーは、カリスマ性よりも『みんなを頑張らそう』という姿勢が求められる」と現代社会を勝ち抜く方法を語った。

後半には、食物の細胞を生きのまま冷凍保存するCASシステムを開発した大和副社長が「失敗の積み重ねから成功は生まれる」と、リーダーの飽くなき挑戦」

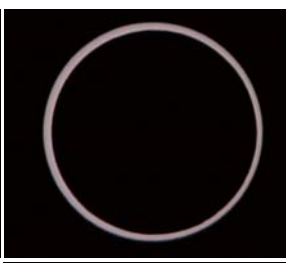
と題して講演。自らがものづくり技術者として失敗しながらも世界に認められていった経験などを紹介。社長自身が貴い町工場のものづくりを大切にしていることを強調し、「職人」の姿勢を強調し、ベンチャー企業がものづくりの現場をけん引する重要性を話した。また、将来の食料危機にも言及し、「優れた技術や人材は国内で大切に、日本の第一次産業を発展させていくことが必要だ」と主張した。

つくば市内から来た女性には、「リーダーとマネージャーの違いなど、新しい知識をたくさん得られて有意義な時間だった。リーダーの条件などは、起業家を目指す人でなくとも役に立つ内容だったと思う」と話した。

25年ぶり金環日食 つくばでも観測会 多数開催



左上=月が太陽を隠し始めた様子
右上=最大食時にはリング状の太陽が観測された
右下=月が過ぎ始めた様子
(提供=筑波大学天文研究会)



18000人が空見上げる

月が太陽の前を横切るため太陽が月に隠される金環日食が、5月21日の朝に九州地方から関東地方の広範囲で観測された。日本で金環日食が観測されたのは1987年以来25年ぶり。

金環日食とは、太陽と月、地球が一直線に並んだ際に太陽が月より大き

く見えるため、月の周りから太陽がはみ出して見える現象。全国的にこの現象を観察できたのは10800年以來9322年ぶりのことで、当日は日本全国がこの天文ショーに注目した。

本学では筑波大学天文研究会が、日食グラスを用いた眼鏡や連続写真の撮影などを行った。天文研究会の朝倉健さん(物理3年)は「当日は天文研究会だけではなく多くの人々が空を眺めていた」と話した。

つくばはエキスポセンターでは金環日食観測会が行われ、約18000人が足を運んだ。徐々に暗くなっていく空を来場者は眺め、皆既の瞬間には歓声が上がった。スタッフとして参加した飛田尚志さん(物理3年)は、「普段天文にあまり興味を持たない人が、こういうイベントを通して興味をもってもらえたのが非常にうれしい」と話した。

金環日食以外にも、今月4日には部分月食、6日には金星が太陽の表面を通過する金星の日面通過が観測された。次回は2030年ごろに、北海道で金環日食が観測できる。

学生の情報セキュリティ技術の向上を目指すコンテスト「SECCON」のつくば大会が、5月19-20日、本学の3B棟210会議室と213プレゼンテーションルームで行われた。

同大会では、問題を解くことでセキュリティの力を試すハッキングコンテスト「CTF」と、テーマにあわせてプログラムを作成して発表する「ハッカソン」が行われた。

CTFには、福岡や福島など全国各地から50人以上、13チームが参加。本学からもCTFに2チーム、最優秀賞を獲得したの

と題して講演。自らがものづくり技術者として失敗しながらも世界に認められていった経験などを紹介。社長自身が貴い町工場のものづくりを大切にしていることを強調し、「職人」の姿勢を強調し、ベンチャー企業がものづくりの現場をけん引する重要性を話した。また、将来の食料危機にも言及し、「優れた技術や人材は国内で大切に、日本の第一次産業を発展させていくことが必要だ」と主張した。

つくば市内から来た女性には、「リーダーとマネージャーの違いなど、新しい知識をたくさん得られて有意義な時間だった。リーダーの条件などは、起業家を目指す人でなくとも役に立つ内容だったと思う」と話した。

の脆弱性について考えた作品を作成した。「ツクランド」は脆弱性を利用することで、レアカードを不正取得できるサイト。いかに少ないチャージで、レアカードを不正に入られるかを競う、オンライン上でCTFだといふ。

同コンテストは今後も続く。

セキユリテイ技術を競う 本学生チームが優勝



真剣な表情でパソコンに向かう学生

学生の情報セキュリティチームの合わせて3チームが参加した。

会場では2日間わたって熱戦が繰り広げられ、参加者は出題されたさまざまな問題に取り組んだ。

CTFで優勝したのは、情報科学類の2、3年生で構成されたチーム「ifconfig」。準優勝にも情報科学類の学生のチーム「urandom」が入賞するなど、本学は好成績を収めた。ハッカソンは「ぼくのかんがえたさいきょうの脆弱性」、「正規表現とパワード生成」などをテーマに行われた。

最優秀賞を獲得したの

NHK水戸放送局「ニュースワイド茨城」 本学から生中継

NHK水戸放送局の夕方ニュース番組「ニュースワイド茨城」の生中継が、5月24日の18時10分から19時にかけて、大会会館講堂ホワイエで行われた。

講堂には同番組の司会を担当する2人のアナウンサーが訪れたほか、ゲストとして宿舎祭実行委員会や「つくばマラソン」の講師を務める鍋倉賢治教授(体育系)とその受講生らが招かれた。

番組では同教授のインタビューのほか、「つくばマ

近年、異常気象の原因の増加以外にも、この北極振動や太陽活動などの自然変動も原因の一つであると説明した。

気候モデルを用いた予測では、現在の通説は自然変動と考えられる温暖化の一部も人為起源として扱われていると解説。メディアで取り上げられている温暖化の将来予測は、過大評価になっていると語った。

講演後にはパネルディスカッションが行われ、今後の気象科学についての熱い議論が交わされた。

同教授は「気象学会の内部でも温暖化論争に対しては両論があるが、温暖化に対して異論を唱え論争する自由な空気が広がってきている。講演会を通して出席者が温暖化を正しく怖がる、ということに納得してもらえた」と話した。

無理な運転避けて
自転車事故

5月9日11時40分ごろ、松見池前ペDESTリアンデッキ上で学生が乗った自転車が発進し、この学生が頭を切るけがをした。学生は自転車のハンドルに荷物を掛けながら運転しており、前輪に荷物が巻き込まれて前に投げ出されたという。同様の事故は15日23時ごろに理科系修士棟前でも発生しており、この学生はハンドルに傘を掛けながら運転して転倒、前歯を折るけがを負った。

学生生活課では「無理に多くの荷物を乗せて自転車を乗ると、荷物が前輪などに巻き込まれて危険。無理のない運転をしてほしい」と注意を呼び掛けた。

市民対象に公開講演

公開気象講演会

一般市民を対象に、気象に関する問題などを紹介する公開気象講演会が、5月26日(つくば市竹園)で行われた。田中博教授(生環系)ら日本気象学会の6人が「地球温暖化問題における科学者の社会的役割」というテーマで講演を行った。

同会は、日本気象学会2012年度春季大会に合わせ開催。今回は同教授をはじめとした温暖化問題の専門家を中心に、今後の課題や社会のあり方について議論された。

田中教授は「地球温暖化に占める自然変動の影響を我々は過小評価していないか」という題で講演。地球

地球温暖化について語る田中教授

第38回宿舍祭

祭色に染まった2日間

第38回宿舍祭が5月25-26日に平砂学生宿舎周辺で行われた。前夜祭は25日、本祭は26日。「祭色兼美」をテーマとして2日間を歩いた。(鈴木拓也、中島佳奈)人文学類、望月麗二比較文化学類、原啓一郎、平嶋健人、社会学類、倉沢美紀、国際総合学類、加藤茂行、地球学類、パク・ジョンヒョク、物理学類、小串尚也、情報メディア(創成学類)

前夜祭

5月25日16時から始まった前夜祭は、あいにくの小雨まじりの中でスタート。

野外ライブやミニステージなどの企画が予定通り始まり、演奏者たちは雨に負けない力強い演奏を披露。会場は一時盛り上がった。

しかし、19時ごろから雨が強まり、大雨に。模擬店や企画は中止となった。

模擬店を開いた新入生らは、突然の大雨に慌てふためながら店じまいをした。

やどカラ祭

前夜祭の終わりを飾る、21時5分からの火文字も中止となり、来場者からは残念がる声があがった。

12時40分からメインステージで行われた「やどカラ祭」は、今年から始まった企画。本学生のおもむきで、厳しい予選を勝ち抜いた6人が出場した。出場者はさまざまな曲を歌い、会場を盛り上げた。

優勝したのは、新巻功平さん(地球1年)。男性バンドグループTUBEの「あー夏休み」を歌った。

新巻さんは、優勝に「どこ(看護1年)は女性シンガーかくうれい」と笑みをこぼした。また、紅一点の出場者となった柿迫優花さん(看護1年)は女性シンガー「MISIAの「Every thing」歌い、会場をわかせた。

本祭 オープニング

5月26日メインステージで行われた本祭オープニングでは、応援部WINSによるパフォーマン스가開会を飾った。実行委員長の及川哲平さん(応理3年)と鈴木久敏副学長(学生担当)ら来賓のあいさつに続いて、吾妻小学校マーチン

グでは、応援部WINSによるパフォーマン스가開会を飾った。実行委員長の及川哲平さん(応理3年)と鈴木久敏副学長(学生担当)ら来賓のあいさつに続いて、吾妻小学校マーチン

グバンドが楽器演奏を披露し、会場を盛り上げた。最後にはカウントダウンとともに会場に「ささやか」の文字が現れ、本祭が幕を開けた。

優勝したのは、新巻功平さん(地球1年)。男性バンドグループTUBEの「あー夏休み」を歌った。

優勝したのは、新巻功平さん(地球1年)。男性バンドグループTUBEの「あー夏休み」を歌った。

子ども企画

本学生と触れ合う

12時からパフォーマンス会場で行われた子ども企画は、本学生と小学生が触れ合うことが目的。今年度のテーマは「みんなで工作エコーパトル」で、牛やウサギの着ぐるみを着た宿舍祭実行委員が、劇を通して環境の大切さを、ユーモアを交えながら説明した。

ダンス

来場者と共に踊る

14時30分から、メインステージで「Colorful Dance Fes」が行われた。本学のさまざまなダンス系団体が一堂に集る企画で、筑波大学斬桐舞、体操部、ダンス部、REAL JAMが参加した。

体操部は巨大なゴムボールを路上で見せる「つくば大ダンス」を組み合わせ、音楽を通して平砂共用棟前で行われた。アカペラサークルDoo Wopやジャクリン

クルなどがパフォーマンスを路上で見せる「つくば大ダンス」を組み合わせ、音楽を通して平砂共用棟前で行われた。アカペラサークルDoo Wopやジャクリン



本学生と共に作成したびっくり箱で遊ぶ子ども



力強い演舞を披露する斬桐舞

祭一番の盛り上がりを見せる

今年度クラウンプリに輝いたのは、体育専門学群代表の橋爪咲奈さん(体専1年)。準グランプリには理工学群代表の水無瀬晶さん(工シス1年)、個性派賞は芸術専門学

ゆかたコンテスト

19時過ぎ、火花を散らした恒例企画ゆかたコンテストがメインステージで始まった。今年も例年通り9つの学群が出場。メインステージを取り囲む会場には多くの観客が詰めかけ、パフォーマンスは趣向を凝らした演技を披露した。

今年度クラウンプリに輝いたのは、体育専門学群代表の橋爪咲奈さん(体専1年)。準グランプリには理工学群代表の水無瀬晶さん(工シス1年)、個性派賞は芸術専門学

で体専の魅力を最大限にアピールした。将来の夢は陸上短距離での五輪出場という橋爪さんは「ダンス経験はなかったが、皆に助けられて優勝は皆のおかげ」と笑顔で話した。

水無瀬さんが「観客の声援がとても大きうれしかった」というように、大団円のゆかたコンテストは祭り一番の盛り上がりを見せた。大盛況のやどカラ祭は、まさに「祭色」一色のまま幕を閉じた。(12面に

水無瀬さんが「観客の声援がとても大きうれしかった」というように、大団円のゆかたコンテストは祭り一番の盛り上がりを見せた。大盛況のやどカラ祭は、まさに「祭色」一色のまま幕を閉じた。(12面に

御輿

個性的な御輿で観客を魅了

15時、パフォーマンス会場で行われた御輿のパフォーマンスに、今年も学群や委員会から8団体が出場した。御輿は、それぞれの専門分野を分かりやすく紹介したことからゲームや漫画の世界を表現したものまで、個性的な作品が登場した。各団体の工夫を凝らしたパフォーマンスが披露されると、会場は大いに盛り上がった。

全団体のパフォーマンス終了後、観客による投票が投票箱と宿舍祭のWebサイトで行われ、医学類が優

勝した。人気漫画「ワンピース」人数による迫力あふれるパンピスをテーマに、海賊フォーモンスで観客を魅了した船を模した御輿を制作。大した。代表者の田中碧さん(医学1年)は「医学類は毎日限られた6限まで授業が入っているが、みんな夜遅くまで作業をしてくれた。優勝できてうれい」と笑みをこぼした。2位の

情報学群は、ゲーム「スーパーマリオ」のストーリーに沿ったパフォーマンスを展開した。3位は生物資源学類だった。

横濱から会場を訪れた学生の保護者は「手作りの御輿の完成度の高さに驚いた。パフォーマンスもよく考えられており、それぞれのテーマが観客に分かりやすく伝えられていた」と話した。



人気漫画「ワンピース」を表現した医学類



上：笑顔でトロフィーを受け取る橋爪さん。右：準グランプリに輝いた水無瀬さんの演技。左下：コミカルな演技で個性派賞を獲得した丹治さん。

反射鏡

パソコンと

親しくなること

高田真吾(社会学1年)

世間がゴールデンウィークで盛り上がりつつある中、私はパソコンと格闘していた。購入したパソコンの初期設定が終わって、それがようやく届き、浮かれていたのも束の間、慣れないパソコンの設定や登録に追われる日々となり、パソコンと過ごすゴールデンウィークとなった。

だ。この日から私とパソコンの付き合いは始まったのだ。人生まだ半分も過ぎていないと考えると、長い付き合いになりそうである。しかしこのパソコンという奴、なかなかの強敵だ。まだまだ使い慣れるのには時間がかかりそうだ。

コンプレックス

抱いたきつかけ

鈴木拓也(人文1年)

本学に入学生して2カ月がたった。高校での何気ない日常が、そしてあたたかい話ももう思い出なくなった。その何気ない私の日常で欠かされたのが、月並みだが部活動プロのアナウンサーに私のしゃべりを見て審査してもらった。初めは私に放逐部だった。こう

思い起こせば、筑波大学に入学するまではインターネットで、それが私にとってパソコンデビューの記念日

……になるはずだった。私は放逐部だった。こう

審査員の前に立ち、人がまばらに座る大きいホールの壇上で一人緊張していた。私はその時点でペストを出したと自負していた。そ

今月のテーマ 私だけの記念日



分の寸評が書かれた欄を見た。「風邪ですか。滑舌に難有り」とのコメントに、私は絶対許せざるを得なかった。審査員は一体全体、私のどこを見て風邪と思ったのだろうか。元々が風邪声なのだろうか。そしておみくじのような短評。私のペスタパフォーマンスは一蹴されてしまった。

一人暮らしの達人に成長

天野紗永(人文2年) 記念日、と聞いて、一番初めに思い浮かんだのは自分自身の誕生日、つまり4月22日だった。この日を思い浮かべたのは、今年の誕生日で20歳というのももちろんあるが、私が筑波大生として生活を始めたのがちょうど1年前だったからである。

面接に行った某サンドイッチチェーンのバイトにも慣れた。一年一人で暮らしている高い場だ。最低限の単位を取って卒業するのにも一つの選択肢だが、いろいろなことに取り組みはうがきつと楽しく、充実した大学生活が送れる。例えば、私のように一人暮らしやバイト、サード活動をして、やりたいことをやりたいだけや、大学生活はいかがだろ。今までの自分を鑑みてみれば、その苦労は分らないのも、楽しいに違いない。

留学生の目

イメ・アルセ

2008年に素晴らしい日本語の先生のおかげで、コスタリカから日本に初めて来た。2週間しかいなかったのに大変はまってしまった。どう

本語を頑張って、日本の文化、歴史などについての本を熱心読んだり、日本の映画やドラマを見たり、友達や家族に日本の話で面倒をかけた。そんなに期待したら、絶対がっかりするよ」とよく言われた。しかし、もう1年以上たったのに、まだがっかりしていない。

静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にも会った。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけな

とほまた多い。よく日本人に聞いてみる。なんで笑う人にも会った。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけな

に静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にも会った。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけな

筑波時評



清水 論

都市開発への期待大 東京への招致を考える

1964年東京大会は、戦後復興都市計画が思うように進まず、首都圏整備計画による首都圏整備費約9807.3億円のうち97.3%が関連事業費となった。首都高速道路など道路、公園、上下水道の整備、東海道新幹線や地下鉄さらに東京国際空港の整備のほか、宿泊施設やNHK放送センターなどが整備された。

この夏、私たちは3度目のロンドン大会に向けて初登壇の日本選手団をまなざしつつ、首都東京がこの50年で何を失い、何を築いてきたのかを振り返り、オリンピック招致を自問東京の未来を考えた。

改修し、ウェンブリー・スタジアムで開会式が行われた。過去2度のオリンピックがこうした歴史的背景ゆえに、2012年ロンドン大会は、なおさら都市の再開発を大きな目的として展開されてきたのだろう。では、東京はどうか。

2008年に素晴らしい日本語の先生のおかげで、コスタリカから日本に初めて来た。2週間しかいなかったのに大変はまってしまった。どう

本語を頑張って、日本の文化、歴史などについての本を熱心読んだり、日本の映画やドラマを見たり、友達や家族に日本の話で面倒をかけた。そんなに期待したら、絶対がっかりするよ」とよく言われた。しかし、もう1年以上たったのに、まだがっかりしていない。

静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にも会った。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけな

とほまた多い。よく日本人に聞いてみる。なんで笑う人にも会った。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけな

に静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にも会った。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけな

ロンドンが3度目のオリンピックを迎える。英国政府と経済界は、低調な経済状況の中にあつて、東ロンドンの再開発がもたらす効果に大きな期待を寄せている。もし

かすその期待は、平和と友好のイベントを機に英連合王国としての「まき手」をシンボリックに見せることよりもより現実的で強いものかもしれない。

1908年の第4回オリンピック大会は当初、

うしてワードに打ち込むのが一杯で、エクセルやパワーポイントなどは全然使えないと考えると、長い付き合いになりそうである。しかしこのパソコンという奴、なかなかの強敵だ。まだまだ使い慣れるのには時間がかかりそうだ。

1948年。開催の理由は、戦後のヨーロッパにおいて唯一余力があったのがロンドンだったとされる。しかしながら、失業率が高く、食料、衣類などは配給制で、爆撃された建物もそのままの先についていた。観覧車が左右に振られる乗り物まであった。現在で

1964年東京大会は、戦後復興都市計画が思うように進まず、首都圏整備計画による首都圏整備費約9807.3億円のうち97.3%が関連事業費となった。首都高速道路など道路、公園、上下水道の整備、東海道新幹線や地下鉄さらに東京国際空港の整備のほか、宿泊施設やNHK放送センターなどが整備された。

この夏、私たちは3度目のロンドン大会に向けて初登壇の日本選手団をまなざしつつ、首都東京がこの50年で何を失い、何を築いてきたのかを振り返り、オリンピック招致を自問東京の未来を考えた。

改修し、ウェンブリー・スタジアムで開会式が行われた。過去2度のオリンピックがこうした歴史的背景ゆえに、2012年ロンドン大会は、なおさら都市の再開発を大きな目的として展開されてきたのだろう。では、東京はどうか。

2008年に素晴らしい日本語の先生のおかげで、コスタリカから日本に初めて来た。2週間しかいなかったのに大変はまってしまった。どう

本語を頑張って、日本の文化、歴史などについての本を熱心読んだり、日本の映画やドラマを見たり、友達や家族に日本の話で面倒をかけた。そんなに期待したら、絶対がっかりするよ」とよく言われた。しかし、もう1年以上たったのに、まだがっかりしていない。

静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にも会った。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけな

とほまた多い。よく日本人に聞いてみる。なんで笑う人にも会った。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけな

に静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にも会った。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけな



落胆と後悔はゼロ

日本にきて、頭の中にいろいろ起り、いろいろ変わった。非常に個人的な経験なので、日本語でも、自分のスペイン語でも記述できない。でも、精神的に成長したのは確認できる。やってみたい。海外に行きたかった。口。心から感謝をしている。(コスタリカ・世界遺産 川原文也日本語)

先「私の第2の名前」です
TEL 029-853-9090
e-mail shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

ジャグリングサークル Sheep 第1回春季公演を開催



難易度の高い演技を披露する Sheep のメンバー

多彩な演技で会場を盛り上げる

ジャグリングサークル Sheepの第1回春季公演が5月17日18時30分から大会館ホールで行われた。これまでは学園祭などで公演してきたが、春季公演の開催は今回が初めて。公演ではボールやシガーボックスなどを用いた演技が行われた。シガーボックスの箱を空中に放ち、1回

ついた道具で、両手に持つて回す。布が上下に動いたり、小さくまわると、観客は驚き、目を凝らして見たりと、布の軌道で模様が変わっていく様子に観客は魅了された。照明が落ち、演技が終わったと思いきや、暗闇の中でポイが輝き、観客の目を惹きつけた。また、ポイと呼ばれる道具を用いた演技も行われ、ポイはひもの先に布が

アートギャラリー T+

6A棟のアートギャラリーT+(ティータス)では、本学で芸術を専攻する学生、教員による展覧会が開かれている。開館時間であれば誰でも自由に入ることができ、展示される作品は絵画から服飾に至るまで幅広い。(12面に関連写真)

スイッチで変化 触れて楽しむ

「和田晴奈個展『スイッチのタップ』」が、5月14-18日に開催された。展示された作品は「小(しょう)さわぎ」と「大(だい)さわぎ」。作品にはスイッチが付けられており、「小さわぎ」のスイッチを押すと扇風機の風によって、天井から無数に下がったすずらんテープが広がり、奥に置かれた音が鳴る仕組み(「小さわぎの仕組み」)が見え

原 点

大学一年生の冬のことである。ギリシアを訪れていた私は、旅の締めくくりの朝、エーゲ海に突き出すスニオン岬へ向かった。アテナイの支配をめぐって女神アテナに敗れたポセイドンの怒りを鎮めるために民衆が贈ったという神殿の響えていた岬である。いまは列柱のみを残す廃墟を背にした私の眼下にひろがるエー

エーゲ海を眼下に固く決意 思索の終わらぬ哲学の道へ



津崎 良典 たてた決意を私は強くしたのだった。

ら、しかも自分を超える唯一のものである。『自分を超えたい』ものに身を委ねることから、すべての新しい事態は生れて来る。『フランス哲学研究で名高い森有正が血のこじむ思索の果てに書き付

つぎ・よしのり 人文社会系助教 1977年生まれ。専門はフランス哲学。高等教育論にも関心を寄せる。パリ第一大学パンテオン・ソルボンヌ校博士課程修了。

手紙

株式会社 森田和馬さん

私は平成元年3月に筑波大学を卒業し電通に入社しました。配属先はテレビ局で、気がついたらテレビ局一筋24年目です。ほんごにあつという間でした。そして会社生活の折り返し点を過ぎたせいか、最近では若手社員教育にとても関心があります。若手にはさまざまな体験を積み上げてもらい、年々早まるメディア環境の変化にも揺るがない懐の深さを養って欲しい。そう思います。

い日々を過ごしていた私がスニオン岬を再び訪れたのは、あの冬から十年が経った風の強い日のことである。一日の終わりを、そして一年の終わりを寂しく告げる夕日を浴びたエーゲ海は、あのときと変わらずあまりに美しく、若き日に たてた決意を私は強くしたのだった。

も素晴らしい体験でした。出張や旅行で数週間滞在すると、住民票を移して生活拠点を移すのとは同じニューオークも違って見えます。日本のテレビや雑誌などで見聞きするだけでは全くニューオークを理解できません。大失敗もしましたが、失敗成功に関わらず体験を通じてわかること、自分が仕事をすること、自分の時間を楽しむことの意味など、日本と違ふことばかりです。たとえは上司と部下の関係、あるいは、殿様と家来のようなウェットな日本に對して、米国は契約に基づいた関係。日本の上司は殿様なので、いい指示でも、家来は必死に上司の意図をくみ

雄大な山脈を描く 洋画の展覧会 上野都代さん(芸専4年)による洋画の展覧会「ヒマラヤ」が5月21-25日に開催された。入口正面の壁に掛けられたのは山々を描いた大きな油絵。降り積もる雪の白い木々の緑とのコントラストが、独特な色彩とタッチで描かれていた。向かいの壁には一枚一枚に山や人の絵と数字が描かれ、カレンダーとしての役割を持った絵画が12点展示された。上野さんは「自分の憧れる雪と岩が美しい山を描き、その絵の軽いイメージを彷彿とさせる『ヒマラヤ』という名前を合わせた。モチーフそのものが持つ良さを完璧に表現することは不可能だということ、面白さを感じながら作品を制作した」と話した。

新人記者募集

“今”を伝えるのは、あなた

毎週月曜日18時30分

共同研究棟 A104
TEL:029(853)6699
MAIL:shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

催事

ひらめき☆ときめきサイエンス
中高生を対象に体験授業を行う「ひらめき☆ときめきサイエンス」ようこそ大学の研究室へ「KAKEEN HI」が、7月から8月にかけて行われる。

開催される講座は以下の3つ。自作の望遠鏡で宇宙を見よう(7月28日(土)開催、申込締切日は6月28日(木))。アトムや遺体の情報から作物の誕生、伝播および多様化を学ぶ(7月27日(金)開催、申込締切日は7月20日(金))。「生態系における土壌のはたらきを探ろう」放射線物質と土壌生態系(7月20日(月)開催、申込締切日は8月7日(火))。

問い合わせ = <http://www.tsukuba.ac.jp/event/20120601153104.html>

T8-Tsukuba Eight
オムニバス形式の講演会「T8-Tsukuba Eight (ティ・エイト)」が6月16日(土)に大会館ホールで行われる。講演テーマは「vision」。自身の専門分野から20分ずつのショートプレゼンを行う。講演者は一倉宏氏、杉村太蔵氏ら本学関係者8人。

当日は11時開場、12時開演。事前申込制で参加費は無料。参加申込みは<http://goo.gl/Qv7T>まで。問い合わせ = brast.tsukuba@gmail.com (田中貴大)

本学から見た五輪

今年7月から行われる第30回オリンピック競技大会。通称ロンドン五輪に本学関係者が関わっているのを、存知だろうか。代表選手として、コートとして、過去に出場した選手として、五輪にかけられる思いはさまざま。本学から五輪の世界をみてみよう。(鈴木かおる)

比較化学類二宮健太郎 啓一 社会学類、加藤茂行 II 地球学類、隅田脩平 II 応用理工類

概論

次国際オリンピック委員総会でロンドンが開催地として認定されたほか、野球とソフトボールの除外が決定した。そのため、前回の北京五輪から競技減少した26競技が開催される。日本では、NHKと日本民間放送連盟による共同制作で試合の様子が放送される。開催期間中、NHKとオリンピック委員会によるオリンピック放送機構、英放送協会が共同で行うパブリックビューイングが東京都渋谷区、秋葉原(東京都台東区)、大阪市内で行われる予定。また、NHKは、PCや携帯電話向けの五輪特設サイトを設けており、リアルタイムでの競技速報、競技結果、ハイライト動画配信なども楽しめる。

今大会では、観客が会場内で撮影した画像をインターネットやソーシャルメディアにアップロードすることや、選手が選手村内の画像をアップロードすることを規約で禁じている。

本学関係選手の競技日程

種目	選手名	級別	日程
柔道	福見友子	48キログラム級	7/28 9:30~
	緒方亜香里	78キログラム級	8/2 9:30~
	杉本美香	78キログラム超級	8/3 9:30~
	平岡拓晃	60キログラム級	7/28 9:30~
バドミントン	池田信太郎	混合ダブルス(ペア/潮田玲子)	7/28~8/3

※時間は全て現地時間

選手情報

選手経歴

平岡、緒方以外の本学関係選手の経歴を紹介する。(6月5日現在)

◆福見友子(ふくみ・ともこ) 平成21年度体育修了。了徳寺学園職員。8歳から柔道を始め、2000年に全国中学大会優勝。02、03年は全国高校選手権48キログラム級を達成し、11年は銅メダルを獲得。全日本選抜体重別選手権4連覇。世界ランキング4位。得意技は払い腰。出場経験あり。

代表候補

平成15年度体育卒業。日本ユニシスに所属。小学校2年生からバドミントンを始め、本学在学中は2002年の全日本インカレで男子ダブルス準優勝。09年に混合ダブルスに転向した。潮田玲子とのペアイケシオで11年のスーパーシリーズ・ファイナル3位。08年に男子ダブルス坂本修一と石島雄介(平成17年度同卒)のペアで北京オリンピック出場経験あり。

◆池田信太郎(いけだ・しんたろう) 平成15年度体育卒業。日本ユニシスに所属。小学校2年生からバドミントンを始め、本学在学中は2002年の全日本インカレで男子ダブルス準優勝。09年に混合ダブルスに転向した。潮田玲子とのペアイケシオで11年のスーパーシリーズ・ファイナル3位。08年に男子ダブルス坂本修一と石島雄介(平成17年度同卒)のペアで北京オリンピック出場経験あり。

◆女子バレーボール 【女子バレーボール】 平井香葉子(平成18年度体育卒業) 【女子サッカー】 熊谷紗希(体育専4年) 安藤 裕(体育科3年) 【陸上】 石塚祐輔(平成21年度体育専)

緒方亜香里

緒方亜香里(おがた・あかり) 体育専門学群4年。小学生のときは空手で全国優勝を果したほどの実力だった。中学1年生で柔道を始める。2009年世界ジュニア選手権優勝。世界ランキング4位。得意技は内股。

だが状況は一変する。10年の終わり頃から消極的な柔道が目立つようになり、翌年2月のグランドスラムパリ大会では前年の優勝にもかかわらず2回戦で格下の選手に敗退。メダル無しに終わる。それまでの連戦連勝に「自分はいけるのではないか」というおどりが生まれていたのかもしれない。挑戦する心がなくなっていた」と話す。1年生の頃と違い、日本代表として第1回世界選手権で優勝した。周囲から柔道が変わったと言われるようになった。翌8月に開催されたパリの世界選手権では、決勝でライバル、フランスのテ

「あいつがスタミナで負けたことはみたことがない」と増地監督。緒方は、けがをしている中で出場した全日本選抜体重別柔道選手権大会では他の日本人選手をオール一本で下している。「全日本で勝って五輪に臨むか、負けて五輪に臨むかでは全然違う。試合では決して本調子ではないが、悪いなりにいい試合をしていた。本人も満足しているのではないかと話す。

平岡拓晃

平岡拓晃(ひらおか・ひろあき) 人間総合科学研究科体育学専攻2年。了徳寺学園。6歳から柔道始める。2008年北京五輪代表。全日本選抜柔道体重別選手権5連覇を果たす。世界ランキング7位。得意技は背負投げ。

権大会。当初、決勝戦で対戦する予想されていたライバルの山本浩史(総合警備保障)が2回戦で敗退。山本を下して優勝するというイメージが揺らいだ。冷静さを保ちながら、冷戦を繰り返した。志々目徹(体大)との決勝戦では積極的な技をしかけ、相手の動きを封じた。相手は指導を2つ受け、有効勝ち。五輪代表の座を手に収めた瞬間だった。

「全日本では、集中していい試合ができていた。本日も絶対俺が代表になる」と評した。

「全日本では、集中していい試合ができていた。本日も絶対俺が代表になる」と評した。

効果は徐々に現れた。次第に周囲から柔道が変わったと言われるようになった。翌8月に開催されたパリの世界選手権では、決勝でライバル、フランスのテ

「あいつがスタミナで負けたことはみたことがない」と増地監督。緒方は、けがをしている中で出場した全日本選抜体重別柔道選手権大会では他の日本人選手をオール一本で下している。「全日本で勝って五輪に臨むか、負けて五輪に臨むかでは全然違う。試合では決して本調子ではないが、悪いなりにいい試合をしていた。本人も満足しているのではないかと話す。

4年に一度の大会を楽しむ

「試合の時に最高のパフォーマンスを出す」と試合への意気込みを語る平岡拓晃。相手を徹底的に研究し尽くす緻密さと、どんな場面でも動じない冷静さを強みに、今夏、五輪の舞台に立つ。

5月12日に行われた、ロンドン五輪の代表を決める全日本選抜柔道体重別選手権大会。輝かしい結果の背後には、4年間のスランプに屈しない努力が隠れている。4年前の北京五輪では五輪3連覇を果たしていた野村忠宏(ミキハウズ)を予選で退けての出場。世界的に注目されていた平岡

「全日本では、集中していい試合ができていた。本日も絶対俺が代表になる」と評した。

「全日本では、集中していい試合ができていた。本日も絶対俺が代表になる」と評した。

「全日本では、集中していい試合ができていた。本日も絶対俺が代表になる」と評した。



グランドスラム東京の決勝戦に臨む平岡 (提供= TSA)



五輪を前に、精神的に練習に励む緒方

「全日本では、集中していい試合ができていた。本日も絶対俺が代表になる」と評した。

「全日本では、集中していい試合ができていた。本日も絶対俺が代表になる」と評した。

「全日本では、集中していい試合ができていた。本日も絶対俺が代表になる」と評した。

五輪の“裏側”を語る

白木 仁

トレーナーとして五輪へ

「憂しいられない。」
 同教授が五輪に初めて関わったのは、1994年のリレハンメル五輪。スピードスケートのトレーナーとして派遣され、楠瀬志保の6位入賞に貢献した。続く98年の長野五輪では日本選手団のヘッドトレーナーを務め、清水宏保の金メダル獲得などに貢献した。



特徴的な大きな手を見せる白木教授

裏方として代表に貢献

「裏方として代表に貢献」が沸き上がった。観衆の援の熱さを感じ、日本人でよかったと思えた。話す。2000年のシドニー五輪、04年のアテネ五輪には、シンクロナイズドスイミングのトレーナーとして参加。その時にともに選手を指導したのが、84年ロサンゼルス五輪から96年アトランタ五輪にかけて日本代表にメダルをもたらした井村雅代氏。「シンクロには興味はなかったが、井村氏のコーチングと毎大会メダルを取る理由に関心があつた。実際の的確な指示を飛ばす姿を見て、すごさを感じた」と語る。

井村氏とともに精神的に選手強化にあたっていたが、開会式を境に国民全体が、開会式を境に国民全体

シンクロで銅メダル

本間 三和子

「五輪を勝ち抜いた者だけが手にすることが出来るメダル。厳しい戦いを終えた選手の胸元に輝くそれは、観戦者にとっては、彼らの「最終目標」のように見える。だが、選手にとっては、メダルとはどんな意味を持つのだろうか。1984年のロサンゼルス五輪で、シンクロナイズドスイミングのデュエット、ソロ銅メダルを勝ち取った本間三和子教授(体育系)に聞いた。

「メダルは人生の過程で偶然手に入れたもの。代名詞でも肩書きでもない。そう語る教授は、メダル獲得よりも、試合が終わって



メダルの思い出を語る本間教授

メダルは人生の礎

「メダルは人生の礎」が沸き上がった。観衆の援の熱さを感じ、日本人でよかったと思えた。話す。2000年のシドニー五輪、04年のアテネ五輪には、シンクロナイズドスイミングのトレーナーとして参加。その時にともに選手を指導したのが、84年ロサンゼルス五輪から96年アトランタ五輪にかけて日本代表にメダルをもたらした井村雅代氏。「シンクロには興味はなかったが、井村氏のコーチングと毎大会メダルを取る理由に関心があつた。実際の的確な指示を飛ばす姿を見て、すごさを感じた」と語る。

井村氏とともに精神的に選手強化にあたっていたが、開会式を境に国民全体が、開会式を境に国民全体

世界主要紙の会議に参加

本紙編集代表がモスクワ訪問

ロシアの有力紙「ロシア新聞」が、提携している世界各国の有力紙を集めた「パナー会議」が5月、モスクワで開かれ、そこに出席する機会を得た。同紙はワシントンポスト、ニューヨークタイムズ(米)、フィカロ(仏)、毎日新聞など17カ国の主要紙と提携し、ロシアの今を伝える別冊「ロシアNOW」を発刊している。会議ではこれら提携紙が新聞の将来を見据えた販売戦略などを議論。新聞研究上、有意義な体験となった。(筑波大学新聞編集代表・教授、福原直樹)

「ロシアNOW」は政経、文化を多様なロシア情報を盛り込んだ10ページ前後の紙面。ロシア新聞が主に編集し、各国の提携紙が印刷・配布する。日本では毎日新聞が6月から1回新聞に折り込む。世界全体での発行部数は飛躍的に伸びており、5年前の創刊時の100万部が現在2000万部になった。

3日間の会議での議論の中心は、この大部分を、提携各紙がウェブサイトに結びつけるか、という点であった。「世界で同時に同じ広告を掲載」が、紙面を充実すべきだと話す参加者も目立ち、ある「」と話していた。

また現在、新聞写真にスマートフォンで撮影した写真がスマートフォン上で動画になる技術が確立している。この新技術を使う、紙面を充実すべきだと話す参加者も目立ち、ある「」と話していた。

新聞の未来を論議



会議と並行して行われた編集者向けセミナーの様子

筑波自然鑑



撮影地=宝篋山

サラサヤンマは人を見れば人を見れば知らず知らず知らぬうちに私を知らぬ。私がそばにいても気づかぬ。目を輝かせ、小枝や木の幹、時にはカマのレンズに止まって翅を休めつつパトロールする姿は見ていて飽きない。この人懐っこさ存分に味わうためには泥だらけになる勇気と汚れを気にしない服装を必要とするのが唯一の難点である。(写真・文 井武藤将道、生物2年、野生動物研究会)

第91回 関東学生陸上競技対校選手権大会

女子が20年連続総合優勝

男子は惜しくも総合3位 真下、大崎が大会新

陸上

第91回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)が5月12-20日に国立競技場(東京都新宿区)で行われた。女子は20年連続22回目の総合優勝の快挙を成し遂げた。男子は惜しくも総合第3位だった。大学院生による男子3部と女子2部では、男女ともに優勝。

女子は、8000mの真下まなみ(体専3年)が2分4秒57、ハンマー投げの大崎かな(同2年)が53.91の大会新記録で優勝。また、三段跳びの前田和香(同4年)と円盤投げの目下望美(同)も優勝を果たした。トラック競技の得点では中央大学に次ぐ2位だったが、「お家芸」のフィールド



110メートルハードルで連覇を果たした大室 (提供= TSA)

ド競技では他大学を圧倒する93点を獲得。総合では、2位の中央大学の133.3点を大きく引き離し、175.5点を獲得し、対校得点では、トラック競技で11位と遅れを

とったものの、フィールドで競走で大量得点をあげ、総合では3位に躍進した。大学院の選手が競走3部では、3000m障害で丹治史弥(体専1年)が8分56秒84、円盤投げの小野真弘(同)が51.16で大会新記録を樹立した。大山圭悟副部長(体育系・講師)は「女子の20連覇に敬意を表したい。男子も勢いがある。日本インカレでは男女アベック優勝をねらいたい」と話した。本学関係者の結果は以下の通り。女子▽1000m立山紀恵(同4年) 2分12秒4▽8000m真下まなみ(同3年) 2分4秒57▽大会新記録▽1500m公本有紀菜(同2年) 3分4分27秒60▽5000m久馬萌(同1年) 16分7秒63▽1000m相馬絵里子(同3年) 2分13秒58▽走り高跳び・金井瞳(同) 2位(1.73)▽棒高跳び・有川星女(同4年) 2位(706.4cm)▽3位(3.17)▽走り高跳び・中野瞳(同) 2位(6.18)▽三段跳び・前田和香(同12) 97.11▽砲丸投げ・知念莉子(同1年) 2位(14.12)▽円盤投げ・目下望美(同1位) 51.16▽鉛球投げ・糸満みや(同3年) 3位(46.59)▽ハンマー投げ・大崎かな(同1位) 53.91 大会新記録、糸満みや(同3年) 49.71▽やり投げ・柴奏子(同4年) 3位(51.97)▽七種競技・春田亜沙美(同3年) 2位(4969.9点)【男子】4000m近藤裕(同) 3位(47秒25)▽1000m大室秀樹(同1位) 13秒88▽走り高跳び・戸邊直人(同1位) 2.19▽平龍彦(同1年) 3位(2.16)▽三段跳び・米澤宏明(同2年) 15.57▽ハンマー投げ・保坂雄志郎(同3年) 3位(62.49)▽やり投げ・中嶋善寛(同2年) 2位(76.18)▽十種競技・谷浩二朗(同) 2位(7064点)

男女ともに入賞 夏の大会に課題残す

体操

第45回東日本学生体操競技選手権大会が、5月20日に仙台市体育館(仙台市太白区)で行われた。本学からも多くの選手が出場し、団体総合で女子が3位に、男子が6位に入賞した。また、個人部門においても多くの選手が入賞した。

男子団体の部では、前半の試合で他校がミスをする中で安定した演技を重ね

た。だが鉄棒とあん馬でミスをし、6位に終わった。女子団体は安定した演技を保ち3位に入賞したものの、夏の全日本インカレに向けて大きな課題を残す結果となった。

個人総合の結果は以下の通り。【男子】個人総合・遠藤正統(同10) 【女子】小山愛(同2) 個人総合3位



平均台で美しい演技を見せる菅野 (提供=体操部)

跳馬2位、段違い平行棒8位、平均台2位、ゆか5位▽菅野恵(同3) 個人総合4年 14位(12面に連続5位、段違い平行棒6写真)

バスケット

男子が拓殖大に勝ち3位 武藤が大会優秀選手に

第61回関東大学バスケットボール選手権大会が、5月3-13日にかけて国立代々木競技場第二体育館(東京都渋谷区)で行われた。本学は3位決定戦で拓殖大に勝利し、去年から順位を上げ、3位となった。

初戦の関東学園大には120-59で完勝。2回戦の慶應義塾大には速攻とインサイドでのシュートが効果的に決まり、94-79で快勝した。続く準決勝では大東文化大と対戦。前半は本学が優位に試合を進めたが、後半で大東文化大の個人技に試合の主導権を奪われる。第4ピリオドで大東文化大が3Pシュートを決め本学に迫り、試合は延長戦へと入った。延長戦



懸命にシュートを狙う本学選手 (提供= TSA)

では本学が3Pシュートやスティールで勢いに乗り、87-78で勝利を収めた。しかし準決勝では圧倒的

な体格を誇る青山学院大にインサイドを崩され、68-99で敗北。3位決定戦では拓殖大と対決した。序盤は

個人賞は以下の通り。大会優秀選手賞 武藤修平(体専3年)

西山、諸貫が表彰台に インカレ出場に期待

水泳

競泳のジャパンオープン2012が5月24-27日に東京都江東区で行われ

た。本学からは27名の選手が出場した。4000m自由形では西山賢太郎(体専3年)が予選で更新した自己最高記録を

で進み、9月に行われる日

分53秒13で3位、1000メートル背泳ぎで諸貫瑛美(同2年)が1分2秒10で3位になり、表彰台に上がった。また、諸貫は50m背泳ぎでも29秒10で4位となった。今後の躍進が期待される。そのほか、50m平泳ぎで小林明日香(同)が7位に入賞した。本学勢の多くが準決勝まで進み、9月に行われる日

本学生選手権に向けて弾みをつける大会となった。仙石泰雄ヘッドコーチ(体育系・助教)は、日本選手権終了後、強化トレーニングを行って臨んだ大会。五輪代表選手も参加する中、学生は期待通りの結果を残してくれた。今後夏のレースに向け、さらなるレベルアップを目指していきたい。」と話した。

男子健闘するも準優勝 女子は第6位

バレー

春季関東大学バレーボールリーグ戦が4月14日から5月20日にかけて早稲田大学山手キャンパス記念会堂(東京都新宿区)などで開

催された。男子は6勝3敗で2位、女子は4勝5敗で6位という結果で全日程を終えた。

男子は5戦目まで4勝1敗で1位をキープしていたものの、6戦目の東海大戦では序盤から相手にリードを許し、その後も普段のプレーができずにストレートで敗れた。7戦目の順天堂大戦では第1セットを先取するが、第2セットを落とす。続く第3セットを25-23で奪取するも、第4、第5セットを相手に奪われセットカウント2-3で惜しくも敗れた。しかし8戦目の国際武道大戦、9戦目の国士舘大戦ではともに3-1で勝利し、最終結果は6勝3敗で第2位となった。秋山史監督(体育系・助教)は「3年の主力選手を中心に、途中から試合に出た選手も活躍した。しかし主力選手に頼りすぎている部分があるため、他の選手が攻撃と守備の両面で力を強化していくことが今後の課題。」と話した。

女子は5戦目の時点で3勝2敗だったが、6日目の松蔭大戦を1-3、7日目の

賞 出末田敬(同3年)▽スパイク賞 李博(同4年)▽リベロ賞 白石啓丈(同4年)

5戦全勝で男子優勝 1部リーグへ昇格も

バドミントン

関東大学バドミントン春季リーグ戦が4月21日から5月3日にかけて日本体育大学健志台キャンパス本記念体育館(横浜市青葉区)

で開催された。1部リーグに所属する女子は1勝4敗で5位、2部リーグに所属する男子は5勝0敗で優勝という成績を取った。女子は初戦の日本体育大に2-3で敗れ、4戦目までなかなか調子が出ず、黒星が続く。だが5戦目の青山学院大に3-1で勝利し、5位という結果に終わった。

男子は初戦から順調に勝ち進み、全勝して優勝を果たした。この結果5月5日の入れ替え戦に出場し、3-2で中央大に勝利して1部への昇格が決定した。吹田真十郎監督(体育系・助教)は「男子は今大会1部に

で、これからも自信を持って練習に励んでほしい。」と話した。

全日本選抜柔道体重別選手権大会 緒方、平岡が優勝

遠藤が3位入賞を果たす

柔道

決勝戦では池田ひとみ(自衛隊体育学校)と対戦。両者技を掛け合うも、なかなか決まらない。残り1分、相手を制した緒方は大内刈りを掛ける。だが池田も支釣込足で切り返す。緒方はこれに耐え、もう一度大内刈りを掛け、技あり。優勝を果たした。

増地克之監督(体育系・講師)は「緒方はひびきをかけており万全ではなかったが、けがの中でも代表権を得たのは、精神的にも強くなった結果。この階級で第一人者というのを実感した。五輪では皆ベストコンディションで望むことが第一」と語った。

世界ランク3位につける平岡。若手同ランク2位の山本浩史(総合警備保障)も出場し、五輪代表に選ばれるためには、この大会で優勝する必要がある。山本が2回戦で敗れる中、平岡は決勝に進んだ。相手は山本を下し勝ち進んだ志々目徹(日本体育大)。試合は平岡が積極的な技を任せ、相手に指導2つが与えられ、有効勝。

平岡は「山本と決勝で当たることを予想していたが、相手は誰であろうと、意識はしていなかった。着実にトレーニングを積み、試合に合わせて体をつくることができた」と話した。

柔道グラウンドスラム
西山雄希が優勝
柔道グラウンドスラム・モスク大会が5月26・27日に開催された。本学からは73歳級に西山雄希(体専3年)が出場し、優勝した。決勝の相手は昨年の世界選手権3位のジュロコピロフ(ウズベキスタン)。開始直後から双方とも技が繰り出せず、互いに一つずつ指導が与えられる。その後足技を出そうと互いに相手の足元をうかがうなか、西山は有利に相手を進め、その後さらに相手に与えられた二つの指導により技あり奪った西山が勝利。国際

舞台で初の優勝を挙げた。増地監督は「国際大会で優勝できたのは大きい。強か今後の課題」と話した。

首都大学野球春季リーグ戦
後半巻き返し5位に
土浦市営球場(土浦市)で行われていた首都大学野球春季リーグ戦が、5月27日に終了。5勝7敗で5位に終わった。

前半の不調が響き、最下位に沈んでいた本学。日本大戦から巻き返しを図った。第1回戦で宮城陽介(体専3年)が2失点完投。打線も援護し、4-2で勝利した。第2回戦も先発の坂部春(同4年)が好投。日体大打線を無失点に抑えた。打線もスタイクを図るなどし、3得点。最後は宮谷が救援し、今季初の勝ち点を挙げた。

続く大東大戦。第1回戦は8回まで互いに無得点。しかし9回表に、代打の松浦昌平(同3年)が安打を放つと、2連続で犠打を決め、2死3塁のチャンス。

ので、一人ひとりの突破力を伸ばすのが攻撃の課題。防御は背の高さを活かして、機動力を持たせたいと、9月の秋季リーグに向けた目標を話した。

個人賞は以下の通り。最優秀選手賞 川俣ゆかり(体専4年)、優秀選手賞 網谷涼子(同3年)、安倍千夏(同)、平川愛里(同4年)

この場面では林竜希(同4年)が適時打を放ち、1-0のサヨナラ勝ち。翌日の第2回戦は1-3で敗戦。勝ち

この場面では林竜希(同4年)が適時打を放ち、1-0のサヨナラ勝ち。翌日の第2回戦は1-3で敗戦。勝ち

この場面では林竜希(同4年)が適時打を放ち、1-0のサヨナラ勝ち。翌日の第2回戦は1-3で敗戦。勝ち



猛攻する本学選手



ホームを踏む本学選手 (提供= TSA)

関東学生剣道選手権大会 2人がベスト8入り

剣道

第58回関東学生剣道選手権大会が5月18日、日本武道館(東京都千代田区)で行われ、本学からは竹ノ内行われ、本学からは竹ノ内行われ、本学からは竹ノ内

注目されたのは1年生の竹ノ内。準決勝では延長戦で小手を奪われたが、得意の面で会場をわかせた。また、佐伯太郎(同4年)も同じく準決勝の延長戦で面を奪われたが、堂々のベスト8入りを果たした。

OB、OGが活躍
第15回世界剣道選手権大会がイタリアのノヴァーラで5月26・28日に行われ、本学卒業生の高鍋進(平成11年度体専卒)と佐久間陽子(平成19年度同卒)が活躍した。

女子シングルス
菅村が優勝
平成24年度関東学生テニス選手権大会が、5月7・12日に東京有明テニスの森(東京都江東区)で行われ、本学から出場した

顔

関東学生テニス選手権大会(春闘)。成り手は夏に控えたインカレの出場が決まる。この2年間、早稲田大の選手が男女とも優勝するなど同大の独断場だった。今年も「春闘」は異変が起きた。本学のホープ、菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。



インカレ出場を決めた本学のホープ
菅村恵里香(体専2年)

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

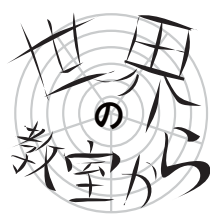
菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

メンタルの強さで勝負

菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。



オークランド大学 (ニュージーランド)

佐々木さゆり

3月11日。私は初めて異国の地に足を踏み入れました。訪れたのは日本から約9000km、南半球に位置するニュージーランドのオークランドでした。私の訪れた3月は秋の始まりで、日本と正反対の季節でしたが、滞在中ほとんど暖かく、日本との気温差に驚くほどでした。

異国の地で「親切」にふれる

滞在中の4週間、私はオークランドの一般家庭にホームステイをしていました。ホストファミリー

7374人がスポーツを楽しむ 新企画チャンバラ合戦も

第36回春季スポーツ・デーが5月19-20日に、学内18カ所を会場として開催された。スポーツ・デーは学生や教職員が参加し、さまざまなスポーツを楽しむ行事で、春と秋にそれぞれ2日間行われている。今回は7374人が参加し、学内の施設は参加者でぎわった。

事前申込みをした団体が参加する正式種目はバスケットボールやドッジボール、オリエンテーリングなど8種目。体育会所属団体によるサークル企画では体操部の体験教室や弓道部の技に参加した女子学生は



4対4で行った学生委員会企画のミニバスケット

リーは留学生を受け入れるのに慣れているようで、英語を親切に、ゆっくりと話してくれました。特にホストシスターの10歳の女の子は家では私の英語の先生でした。家では彼女に英語を教えるつもりはなかったが、平日の日中はオークランド大学付属の語学学校「イングリッシュランゲージアカデミー」に通い英語を習っていました。授業は終始英語で行われるため、初めは先生がどのような答えを求めているのか理解できないなど、戸惑うことも多々ありました。学校には日本はもちろんです。中国や韓国、サウジアラビアなどさまざまな国から生徒が来ています。彼らのコミュニケーション

驚いたのは、なにもかもが手作りでいうところ。ウェディングケーキもホストマザーの友人の手作りでした。パーティーには多くの人が訪れ、彼らは皆親切で見守る。私にも優しく話かけてくれました。その日、私は英語で話すことの楽しさや、伝えたいことがスラスラとくまなく伝えられない悔しさを感じました。そのことは、私の中の英語を学ぶ意識を今まで以上に変えた気がします。ホストファミリーやパーティーに訪れた人々を「親切」と表現しましたが、ニュージーランドの人々は皆親切とも言えます。朝の通学時、乗っていたバスが壊れ、何が起ったのかもわからず



ニュージーランドの仲間と(右端が佐々木さん)

おろろしていた私に女子大生が話かけてくれた。別のバスに乗りかえることや、どこで降りるべきかを教えてくれました。バスの中、彼女がいろいろ話をしました。前からの友人であるかのようにその時間は楽しいものでした。ニュージーランドに住む人々はその時しか会わないような人にも優しく快く対応してくれました。そのことは私

しめて良かったと話した。第1体育館ではバスケットボールの女子部門「ビギナーズカップ」が行われた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「チームにバスケットボール経験者が一人もい

就活の基礎知識を学ぶ 内定者との座談会も

筑波的！就活のキホン講座 本学の就活生を支援する「スケージュール」を紹介。内定者による団体「TAK E@WAY」が、5月30日に就職活動の概要を説明する「筑波的！就活のキホン講座」を3A棟202で行った。会場には就職活動

を始める学生約200人が集まり、中には立ち見の学生もいた。前半では、スライドを用いて企業の基礎知識や就活



なに？なに？

ペデの由来を探る

身近な疑問をきっかけに、本学の成り立ちについて考え直す「なぜなに？」は、第2回となる今回は、研究学園都市を断絶し、本学の交通の軸となつてペデストリアン・デッキの謎に迫る。なぜ2階から入る建物が多いのか、どうして歩行者専用道の名を冠したペデに自転車走っているのか。誰もが疑問に思いつつ、いつしか慣れしてしまうこれらの疑問を、設計した人物に尋ねた。

ペデと車道の平面交差は避ける必要があった。「ニューヨーク郊外のラドバイン地区をはじめ、世界的にも歩車分離が注目された時期だった」と続ける。土肥名誉教授は、つくば市の計画以前に関わっていた「高蔵寺ニュータウン計画」(愛知県春日井市)で、歩車分離の必要性を実感。筑波研究学園都市にペデを掘ることは、最初から念頭にあった。ペデなのに自転車？ とここで「ペデストリアン」は歩行者の意味。法律では車両扱いの自転車だが、なぜペデを走っているのだろうか。土肥名誉教授は「自



建物の2階に出入口があるペデの様子(第一エリアで)



内定者の講座を聞きに多くの学生が集まった会場

本学構内で開催 第33回オリエンテーリング大会

オリエンテーリング愛好会が企画・運営する、第33回筑波大学オリエンテーリング大会が9月30日(日)に行われる。開催地は本学キャンパス内。3月からキャンパスの使用に関して学生生活課と交渉が行われ、6月4日に最終決定された。オリエンテーリングはコンパスと地図を手にチェックポイントを通過しながらゴールを目指す。タイルを読み込み、最適なルートを見つけていくことが勝敗を左右する。大会は1978年より行われている。大会を運営するオリエンテーリング愛好会の部員減少を理由に、2008年より大会が行われていなかったが、今年1月より復活した。これまで、茨城県内を中心に関東各地から開催地を選出して、行われてきたが、本学キャンパス内での開催



土肥博至名誉教授

反対された。しかし土肥名誉教授の説得が功をなし、今の広場が実現。「我々の要求を通じたのは奇跡に近い」と話した。取材して一言

ははじめて。第33回大会では、初心者向けなどのさまざまなコースを設けることで、多くの人が参加できるようにしている。また、保険が充実しており、突然のけがも補償されるため、初心者でも安心して大会に参加できる。会場は学生生活に配慮し、宿舎・研究施設付近を除いたエリアで行われる。大会当日、学内での交通規制の予定はない。大会の運営に関わる柳川梓さん(社会学4年)は「この大会を機にオリエンテーリングの知名度が向上すれば」と話す。

GoodJob2012~夢の職業体験場~ 子どもたちに仕事の楽しさ伝える



郵便局員の仕事を体験する子どもたち

本学生が主体となり運営

子どもに職業体験の場を与える「GoodJob2012」夢の職業体験場が、5月12・13日に開催された。つくばフェスティバルの企画の一環としてつくばセンターで行われた。当日は約2500人の子どもが訪れ、思い思いの子どもたちが疑似通貨

「ジョブシヨブ」を手入れ、駄菓子を購入したり、ゲームを楽しむことができる。中でも人気を集まったのは、THK筑波放送協会が出品する「つくばへっぴょぶテレビ」。アナウンサーになりきり、カメラに向けて原稿などを読み上げた。同イベントの今年のテーマは、「楽しい」オトナ量産計画。将来仕事を楽しくみている子どもが増えるように、という思いから同イベントは生まれた。

代表の山下奈菜子さん(社会学3年)は「昨年よりも来場者が1000人も増えて驚いた。最初は運営する人の人数が足りないことにもあったが、たくさんの子どもたちに楽しんでもらえたよかったです」と感想を語った。(2面に関連写真)

リレー・フォー・ライフ2012 in 茨城がんとその戦いを応援約700人が会場を歩く

がん患者支援のチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ2012 in 茨城」がつくば市研究

参加者はリレー方式でコースを歩き、寄付を募った。夜にはコースの沿道にルミネアが置かれLED電球で点灯。ルミネアにはメッセージが書かれ、幻想的な雰囲気が漂った。

三津石さんは「一人ひとりの活動は小さくても多くの人が参加すれば大きな事を成し遂げることが出来る。多くの学生や教職員の皆さんに3分間のボランティアに参加してもらえればうれしい」と語った。

タイムマイクロネット

ネット

気軽

学生

WAF2012報告会

アートを通じて国際支援 凧上げのワークショップも

芸術を通じた、持続可能な国際支援を目的とする団体、Wall Art Projectの活動報告会「Wall Art Festival (WAF) 2012報告会」が3A棟202で5月18日に開催された。

当日は連動イベントとして、国内外でアートイベントの企画などを行うアーティスト、遠藤一朗さんによる凧上げのワークショップ「未来龍大空凧」が虹の広場で行われた。未来龍大空凧は、小さな凧を一列に50メートルほどつなげたもので、一つひとつの凧に個人の「夢」が書かれている。

参加者らは賑やかな舞を披露した。報告会の主催者である、町田紗記さん(芸専3年)は「臨場感のある報告会になるよう工夫した。自分も昨年報告会で話を聞いて、WAFに参加したが、凧に書いたように、人に伝えることで自分が種になって活動を広める手伝い」ができた」と話した。

夕暮れの薄闇の中、肉の焼ける匂いが広がる。うちわをおおぐたびに火の粉が舞い、それと共に笑い声も飛び交う。パーベキューをしているのは、野外活動クラブだ。

同団体は名前の通り、キャンプやスノーボードなど「野外」で活動をする団体。約10日間の「長期キャンプ」や地域の小学生と行う「子供村サマーキャンプ」などが毎年行われる。それだけでなく、サイクリングや登山など各自が考えた企画も実施する。

6月2日に豊里ゆかりの森(つくば市東原)で行われたキャンプには現役メンバーだけでなく、OBも参加。レクリエーションも行われた。小麦粉の中に入れたあめを顔だけで探すゲームをしたり、障害物競走をしたり。小麦粉に顔を突っ込み、顔を真っ白にしながらかめを見つけて歓声を上げ、一障害一障害の5000の炭酸飲料を「一気に飲みました。この大騒ぎも「大学の今しかできない」と団体の代表 許慎萬さん(化学3年)は語る。

団体のメインイベントは長期キャンプ。毎年夏休み約10日間、目的地に向かって旅行する。1日8時間電車に乗ることもあれば、何もない駅で2時間さまよい歩いたことも。その場でやりくりする感覚が楽しいそうだ。10日間同じメンバーと行動するため、より一層仲が深まる。

団体の魅力は学年、男女を超えて仲が良く、メンバーの学類も多岐にわたるため、横のつながりも広いこと。「上級生と下級生の仲が良く、引退したOB・OGも参加しやすい雰囲気」が、このため現役以外の参加も多い。「りきこ」や「シヨン」などニックネームで親しげに呼び合う、誕生日も祝い合う。



「未来龍大空凧」のワークショップ風景

人生の夏休みを謳歌

人生の夏休みを謳歌

人生の夏休みを謳歌

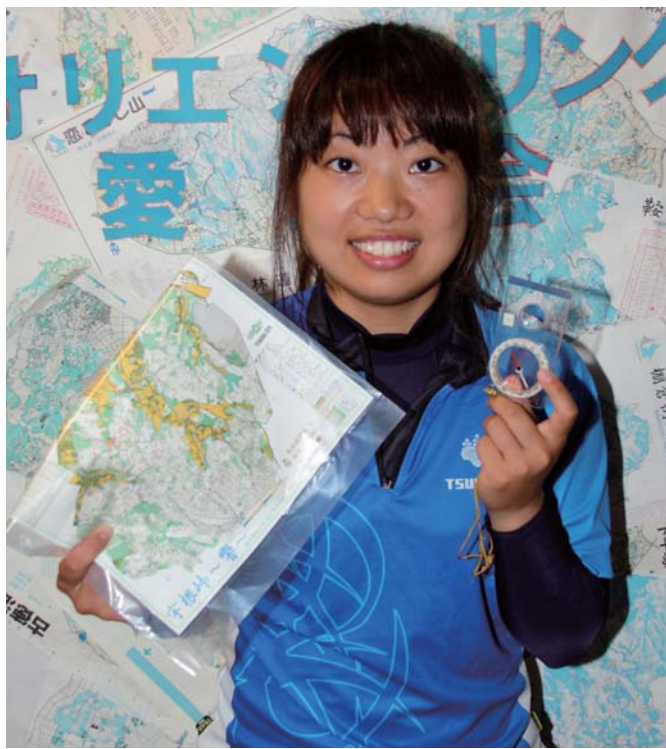
人生の夏休みを謳歌

人生の夏休みを謳歌

Who's Who?

全日本オリエンテーリング大会 W20 Aクラス 2位

篠原咲さん (地球2年)



コンパスと地図を手に微笑む篠原さん

「地球が好き。地球について話すと長くなっちゃう」と笑顔で語るのは篠原さん(地球2年)。5月に広島県

で行われた第38回全日本オリエンテーリング大会のW20 Aクラス(16-20歳)で大会経験が豊富な階級)で2位に入

賞した実力者だ。

「普段よりも落ち着いて地図を読めることが結果につながった。オリエンテーリングは知力と体力が要求されるスポーツだ。コンパスと地図を手にし、いくつものチェックポイントを通り、ゴールを目指す。大会には個人競技と複数人でチームを組んで行うリレー競技がある。「マラソンのように決められたコースはない。どのルートを進めば速く楽にゴールにたどり着けるか考えるのが楽しい」と話す。「全国各地を訪れることができるのも魅力」。試合で関東全域を中心に静岡、広島などを訪れている。その中でも印象に残っているのが岐阜県という。「岐阜で行われたインカレのリレー競技で、自分がチームの足を引っ張ってしまった。その悔しさが忘れられない」。笑顔の奥に強い責任感が見える。今月は試合で山形、11月は長崎に行く予定だという。

地球と走ることが好き 今しかできないことに打ち込む

大学から。高校までは剣道部だった。「大学に入って何か新しいことを始めたい。自然に触れること、走ることが大好きな自分にあっている」と思った。練習ではランニングや腹筋運動などの筋トレのほか、最適なルートを探る「地図読み」をこなす。練習をつらく感じることはなく、むしろ楽しく感じる。「人と一緒に走るのが楽しい」。

もう一つの好きなものは、自然。「小学生のころ、森の中に秘密基地を作るのが大好きだった」と笑顔で語る。高校に入ると天体としての地球に感心を抱いた。地球の授業がきっかけだった。「空と水のある地球は、他の星と異なるプロセスで誕生した特別な存在だと先生から聞いて、すごいと感じた」。大学に入り、現在は地球進化学について学んでいる。

現在は9月に開かれる第33回筑波大学オリエンテーリング大会に向けて、コース付近の精密な地図調査を行なっている。

「今しかできないことをやりたい」。次にやりたいことは、人旅。「海外に行きたいけど、まずは日本を知りたい」といふ。日本各地にある世界遺産や自然遺産を見て回りたい。「人生のうちにはできることはなんでもやりたい。人生は一度しかないから」。オリエンテーリングのように、人生に決められたコースはない。「地球」と「走る」が好きなのは彼女が目指す次のチェックポイントはどこか。冒険はまだまだ終わらない。(二宮健太II社会学類)

編集後記

日差しが強くなってきて、今では編集期間。窓を開けるとどこからともなく虫が入ってきます。捕まえる方は人それぞれ。紙コップで敵を捉え「キケン」とそこに書くP、ハノイで培った反射神経でちょこまか動く虫をティッシュ1枚で捕まえるKさん、1歩の距離から殺虫剤を吹きかけるN、雑誌を丸めて準備だけは整えるH。それぞれ個性が垣間見えた瞬間でした。これからも野外的なお友達との戦いは続きそうです。

次号は

9月10日(月)

発行予定です

第38回宿舍祭



祭のフィナーレを彩る、美しいゆかコン嬢の舞

3面へ

アートギャラリーT+



すずらんテープの奥にのぞく音の仕掛け

5面へ

東日本学生体操競技選手権大会



のびやかな演技を見せる菅野 (写真提供=体操部)

8面へ

Good Job 2012



アナウンサーになりきり原稿を読み上げる子どもたち

11面へ

ミニ特

学芸

スポーツ

学生生活